

## ベルン滞在記

磯田典和（平成 20 年度大学院博士課程修了）

自分は今スイス連邦国のベルン大学にいます。ここではリスク評価学、主に動物感染症と食品安全というテーマで日々勉強を続けております。ここスイスはそのような学問分野の先進であることで有名です。

実際に何をしているのか、と言うと、毎日コンピュータと格闘です。世界各国で発生している感染症の情報などにアンテナを張り巡らせながら、自分の研究分野に関連する情報を主にインターネットから収集しております。その情報源は科学者による研究論文の業績や各国の統計データ、ならびに公的研究機関、民間企業や財団法人などが発信している些細な情報にまで目を配ります。英語が主なツールですが、ドイツ語を使わないといけない時もあります。もちろん日本が研究のターゲットであれば日本語です。

こちらでの生活全般は英語でもほぼ大丈夫です。多くの方が公用語の一部であるドイツ語、フランス語を始め、英語、そしてイタリア語を理解してくれるようです。先日不慣れなドイツ語にて道を尋ねたところ、「ドイツ語で答える？それともフランス語？英語？」と逆に質問されてしまいました（もちろん英語で教えてもらいました）。

ベルンはスイスのほぼ中央に位置し、その旧市街はユネスコによって世界遺産に 1983 年に登録されております。ベルン大学から少し歩けば旧市街です。またベルンから 1 時間も電車に乗れば、アルプスの麓まで到達できます。休日などは時々電車に乗って小旅行を楽しんでおります。仕事時間はしっかりと集中し、オフ時間は余暇を楽しむ。皆さんもそんなヨーロッパスタイルの生活環境で新しい分野の学問に取り組んでみてはいかがでしょうか？

